大勇門

豊田市立前林中学校

令和　8年11月10日　No.24

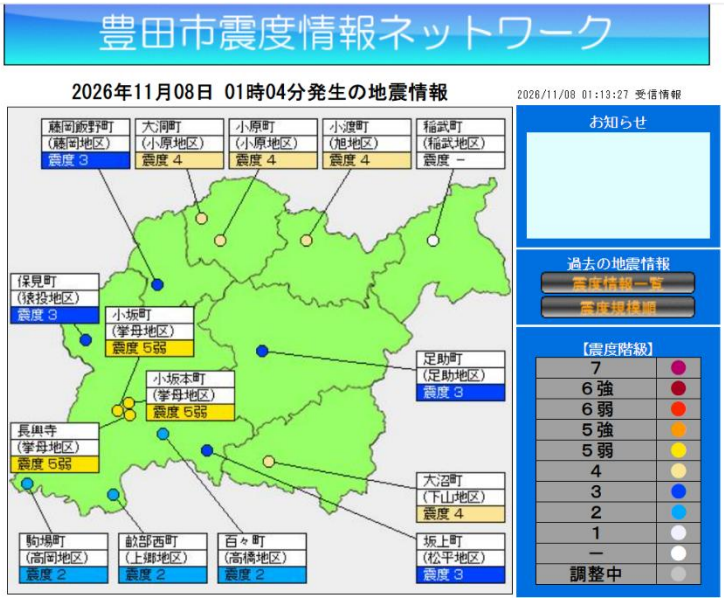
<学校だより>文責：大村（おおむら）　斎人（よしひと）
TEL：(0565)52－1353
E-mail：c-maebayashi@toyota.ed.jp

在校中、市内で大きな地震が起こったら

11月8日（土）未明に起こった地震には驚きました。ニュースによると、愛知県内では29年ぶりの震度5強の地震が発生したとのことでした。

地震発生後の午前2時40分には、市教委から管理職宛てにメールが届き、施設の被害がないか確認して報告するよう指示が出ました。幸いなことに本校には大きな被害がなく、エレベーターが緊急停止しただけでした。

今回の地震は不思議なことに、震度が豊田市内で大きく異なりました。中心部は震度 5 弱でしたが、南部の駒場と畝部西町の観測地点では震度2でした。そのため、本校では大きな被害がなかったものと推測されます。



今回の地震は、改めて学校の危機管理体制を見直す機会となりました。本校の危機管理マニュアルによる対応を役職者で確認し、生徒の命を守る策について検討しました。余震が想定される中、生徒を下校させ自宅待機させるのは危険です。また、校舎内や体育館に生徒を入れることも熊本のイオンの事例のように危険です（エアコンはガスで動いています）。従って、生徒を運動場に避難させ保護者に引き取りを依頼するのが妥当です。

1 週間程度は同規模の地震が発生する可能性があるそうです。生徒が在校中、大きな地震が起こったとき、きずなネットで生徒の引き取りを依頼することになる場合があるので、御留意ください。

【危機管理マニュアルに基づく大規模地震発生時の対応例】

学校	生徒
大規模地震発生 ・放送で避難開始の指示 ・人員確認、不明者捜索	第一次避難場所（運動場南側）へ避難
防災委員会の設置 ・事後対応の協議 ＊余震発生を想定した対応	運動場南側で待機
各家庭へ引き取り要請 ・きずなネット発信	運動場南側で保護者到着を待つ ・保護者が到着した生徒から順次帰宅